

今年度、各学年単学級や複式学級のある小学校へ複数訪問させていただいています。児童数の減少により規模の小さくなってきた学校が、子どもたち一人ひとりの多様性を大事にして主体的な学びの機会を作りつつ、教員のウェルビーイングを実現するには、どんなことができるでしょうか？

あわら市 北潟小学校

日ごろのコミュニケーションで  
地域と共に働き方改革

小規模だからこそ、  
日ごろのコミュニケーション重視  
＝生の意見を聞き取りやすい

●PTA関連行事の見直し●

児童数減＝会員数減 負担の大きい行事を見直し  
★年度中の柔軟な見直しを実施★



運動会の見直し

R5 9月上旬開催 → R6 9月下旬開催(練習時間を短縮 or スリム化 負担を軽減して開催)

まだまだ暑い…

➡ R7～方向性 PTAからの意見も受け、平日開催を検討

主な理由: 土日にスポーツ少年団等の大会が入っている児童が現行の運動会に出られない可能性考慮

こんなことが  
懸念事項?

運動会当日の欠席が分かっている児童の練習に対するモチベーションが他の児童にも影響する可能性  
今後、中学校での休日の部活動地域移行を見据えた小学校高学年段階からのスポーツ継続にも影響が出る可能性

●子どもたちの主体性を育む取組●

★委員会活動 子どもたちを中心に、子どもたちを前に 教員が出すぎない

★修学旅行 じっくり子どもたちが話し合う時間を確保→当日のスムーズな行動につながった

大切なのは  
こんなこと!

子どもたちに委ねる分、時間がかかる＝教員側の時間と心のゆとりが必要  
他の担任や担当と相談したり、経過報告を受けたり…が大切

●校時表の見直し●

令和5年度版

曜	日	月	火	木	金	水
朝	読書			～		8:00
朝	学習	8:00		～		8:15
朝	の会	8:15		～		8:25
1	限	8:25		～		9:10
2	限	9:20		～		10:05
業	間	10:05～10:25				(10分休み)
3	限	10:25～11:10				10:15～11:00
4	限	11:20～12:05				11:10～11:55
給	食	12:05～12:50				11:55～12:40
昼	休	12:50～13:20				12:40～13:00
		(金～13:30)				
清	掃	13:20～13:30				(清掃なし)
5	限	13:40～14:25				13:00～13:45
帰	りの会	14:25～14:35				13:45～13:55
		★下校(スクールバス)14:45				
6	限	14:35～15:20				13:55～14:40
下	校					14:50
★	スクールバス	15:30				
7	限(水)	クラブ/委員会	14:50～15:35			★下校(スクールバス)15:45

●令和6年度版●

曜	日	月	火	木	水	金
朝	活		8:00	～		8:10
朝	の		8:10	～		8:20
1	限		8:20	～		9:05
2	限		9:15	～		10:00
業	間		10:00	～		10:20
3	限		10:20	～		11:05
4	限		11:15	～		12:00
給	食		12:00	～		12:45
昼	休		12:45～13:15			12:45～13:05
清	掃		13:15～13:25			(清掃なし)
5	限		13:35～14:20			13:05～13:50
帰	りの会		14:25～14:35			13:55～14:05
下	校		★スクールバス 14:40			★スクールバス 14:10
6	限		3年～6年 14:35～15:20		2年～6年 14:05～14:50	4年～6年
下	校		★スクールバス 15:30			★スクールバス 15:00
ク	ラブ/委員会		終礼 月・水・金 16:20～16:30 →見直し 5月中旬～金のみ		クラブ4年～6年/委員会5年～6年 15:00～15:45	金曜日 放課後の ゆとり
下	校				★スクールバス 15:55	

★午前中の時間にバラつきがないので、教職員も子どもたちもどちらも安心!  
★5限と帰りの会の間に5分間のトイレ休憩を設け、十分な帰りの会の時間確保

“ふくい教育ミライ会議”の様子をちょっと紹介

～奥越地区開催“ふくい教育ミライ会議”に寺井CODとインターン生が参加!～



8月21日(水)大野市の「きなり」にて、奥越地区でのふくい教育ミライ会議を開催しました。  
この週は、福井県庁の学生インターンの期間で、行政職志望の3名の学生も一緒に参加しました。インターン生から先生方に、「子どもたちの主体性を育むために何をしていますか?」という質問も飛び出し、和気あいあいとした雰囲気の中で本音でお話できていたようでした。

そして、この日はさらにゲストが! 福井県未来創造部の寺井優介チャレンジ応援ディレクター(通称 寺井COD)も駆けつけてくれました。



先生方と、生徒の進路指導や多様な学び、探究活動につながる地域人材の新規開拓等に関する話で盛り上がり、寺井CODからは、若者チャレンジ応援の活動の中で県内の方が立ち上げられた「こみかる」の紹介もありました。(詳細は、寺井CODのSNSへ!)

福井県庁には、「ディレクター」という、様々なプロジェクトに関連する分野の各部の若手職員とともに部局横断的なチームを結成し、県政の重要課題解決に取り組む役割があります。SNSや報道でご存じの方も多いかと思いますが、寺井CODもその一人で、若者のチャレンジを応援する取組に毎日奔走しています。  
実は今年度、県庁の「ディレクター」を含めた8名の若手職員が、「福井県探究学習サポーター」に県教育委員会から委嘱されていて、高校生等の探究学習をサポートする活動も行っています。

■編集後記■

GGKニュース担当も、「ふくい教育ミライ会議」の2つの地区に参加し、その中で、「毎回GGKニュースを楽しみにしています!」という声も頂きました。ますます県内を走り回らなければ!と改めて決意した次第です。今後も取材依頼をお寄せください!

